

火災予防

平成16年は、市内で27件の火災が発生しました。その内訳は、建物火災が13件、林野火災が1件、車両火災が2件、野火などが11件となっています。

建物の火災原因では、たばこの火の不始末（ポイ捨て、寝たばこなど）や電気コードの異常加熱（束ねたままの使用、電気コードが家具などの下になっているなど）が多く、工場や倉庫では、溶接機などによる火花が主な原因になっています。

火災発生件数

年	建物	林野	車両	その他	合計
平成14年	11件	1件	1件	6件	19件
平成15年	11件	1件	2件	7件	21件
平成16年	13件	1件	2件	11件	27件

主な火災原因

年	順位		
	1位	2位	3位
平成14年	電気配線	たばこ	放火、放火の疑い
平成15年	放火、放火の疑い	火遊び	こんろ
平成16年	たばこ	溶接機、切断機	電気配線

防火査察

一定の面積以上の商店や事業所などは、消火器や火災報知機などの消防設備の設置が、法律で義務付けられ、毎年、消防職員が適正に設置されているか立入検査を行っています。

また、高齢者などの住宅を訪問し、こんろや暖房器具が正しく使用されているかを点検し、火災予防を呼び掛けていきます。



防火査察

消防訓練の指導

火災などの災害が発生した時に、迅速・安全に避難できるよ

う事業所や学校、町内会などで避難訓練の指導を行うとともに、防火懇談会を開催しています。



消防訓練

消火器の正しい使い方

火災は、出火後の数分間が被害の大きさを決める大切な鍵になります。万一の場合は、落ち着いて消火しましょう。

- 消火器の放射時間は、約15秒です。
- 消火器の放射距離は、3〜5階です。

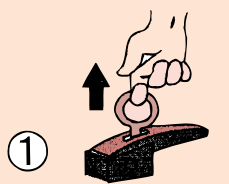
● 消火器で消火できるのは、天井裏に達するまでの炎です。これらのことを理解して、いざと

いうときに消火器を有効に使いましょう。

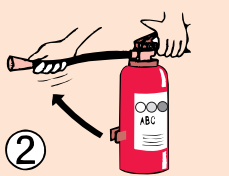
また、消火器は、日ごろの管理が大切です。腐食した消火器が破裂するなどの事故も起きています。使用期限の切れた消火器は早めに交換しましょう。

● 消火器販売のトラブル
各地で消火器販売などのトラブルが発生しています。

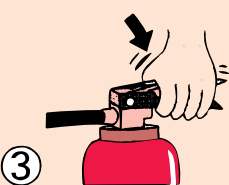
不審だと感じたなら、身分証明書の提示を求めたり、はっきりと点検などを断るようしましょう。



① 安全ピンを上向きに引き抜きます



② ホースを火元に向けます



③ レバーを強く握ります



ポンプ車



化学車



水槽車